



# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 87 号(2013)  
<http://www.h7.dion.ne.jp/~saitama/>

## ワールド・フレンドシップ・デー



昨年は、FF埼玉クラブの20周年行事などがあり、ワールド・フレンドシップ・デー(以下、WFDと省略)はなかったが、今年度は、3月1日に浦和コンナール9Fにて開催しました。最初のWFDは、世界の人々との友好を深めることを目的に、2005年



ハワイアンバンドの演奏に合わせて踊るメンバー

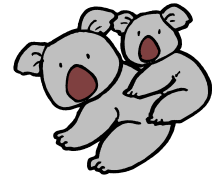
3月1日に、フレンドシップ・フォース・インターナショナルと各国のクラブで式典がひらかれ、これを記念して、3月1日に各国でWFDが催されています。当日は、ゲストを含め58名の参加があり、プログラムとしては、ハワイアン演奏・ダンス、BINGOゲーム、踊り、外国人ゲスト紹介、バザーなどを行いました。特に、メイン・イベントのハワイアン演奏では、懐かしい曲の演奏や、ハワイアン・ダンスにメンバーも参加するなど、楽しい時間を過ごしました。また、外国人ゲストとしては、スリランカ学生の方の参加もあり、多彩なプログラムでした。ただ、今後に向けては、さらにWFDの趣旨である‘World Friendship’の意味で、より多くの国々からのゲストにも参加してもらえるように発展して欲しいと思う。

西村介延(よしのぶ)

## メルボルンクラブ、マレーブリッジクラブ渡航 2013年

3月12日(火)～19日(火) Melbourne

3月19日(火)～26日(火) Murray Bridge



ED 原田 史



Raleigh Club (USA) と共に

メルボルンからの事前警告「猛暑が続いて到着日も37度の予報、夏服が必要」。なのに埼玉は出発日の3月11日には12度ほど。その落差に振り回されました。

人口300万人余りの大都会メルボルンではトラムが縦横に走り、都心は文化の集積地、コンサー

トホールや美術館、二つの大聖堂。一方、小一時間のドライブで海にも丘にも山にもアクセス可能、人口が増え続けてシドニーを抜きそうだという人気もうなづける気がしました。中国人の大量進出、移民の増加が問題のようでした。

8時間列車に揺られて(ただし一等車!)到着したマレーブリッジではホームに大勢のお出迎え。翌日には公園で植樹式、勿論ユーカリです。その後市長に面会。さいたま市長の親書をお渡しし、豪華なモーニングティーの接待に預かりました。

なにしろ二階家はまれというのどかな人口19,000人の農業の中心地。ただ雨が少ない土地で、放棄された農地やワイナリーなど胸の痛む景観もありました。

圧巻は9クラブの97名が集まったピクニック。その場で埼玉クラブ13名が2部合唱で滝廉太郎「花」をご披露したのも良い思い出となりました。

### 初めての homestay

太田 和子

今回3度目の正直でやつとFFの旅行に参加することができました。珍しい中年の団体のhomestayは現地の若い人にもnice!と言われました。私の受け入れ先の方は何と1965年にオランダからワーキングホリデーでオーストラリアに来てずっとそのままメルボルンに住む未亡人でとてもパワーの有る方でした。でも永住権は10年前に取れたとか…毎晩楽しく話しをさせて頂いたのが忘れられません。世界中女性が話す事思う事も同じ、家族、旅行、暮らし、趣味…私は初めてのhomestayでしたがFFは本当に良くできたクラブという印象を受けました。

30年以上のクラブの歴史の中でよくよくオーガナイズされ世界中、安心してhomestayに中年でも行けるなんてそれも団体なので楽しく相手の国の方々と知り合えるのには驚きました。

私のホストマザーのFFの制服は真赤な帽子に紫色の服で楽しく会議に皆で出かけるそうで、いつも周りの知らない人たちから聞かれるのよとFFを楽しんでいました。

私も今回の参加であまり興味がなかつたオーストラリアが好きになりました。

この先も皆様とお手伝いをしていきたいと思っています。



オウムと遊ぶ

## オーストラリア訪問記

大熊 幸雄

2013年3月、Friendship Force of Saitama 会員として初めての渡航、初めてのオーストラリア訪問を経験しました。巨大な国土と親切でおおらかな国民性に接し、この旅をこころから楽しむことが出来ました。Melbourneでは、Val & John Fordのお宅に西村介延さんとお世話になりました。EDを務めるValは素敵なしおりと親切なプログラムを用意していただき、日常生活ではきめ細かいこころ配りがありました。雨が降り始めても再び乾くからと洗濯物を取り込まなかったり、また、Johnに対しては、「I am bossy woman.」と結構ポンポンとやり込めていました。夫婦の関係を垣間見る機会に思わず苦笑。



Murray Bridge の John, Jan と

### オーストラリアのホームステイに参加して

榎井 徳江

FFで初めてのホームステイでの海外旅行、オーストラリア…前回は夫とシドニーとケアンズに行っただけですが…とても心はずむ旅を期待して、”よお～し！オーストラリアンになって帰って来るぞ！”2週間以上もネイティブと過ごせるのですから、当然Englishの語学力がUP,するだろう！と期待で胸はふくらみ、が、しかし現地の English は、私の頭の回路をスッカリ乱し、どうなることかと大変心配していましたが、やっと最近どうにか……何はともあれ、楽しく過ごす事ができ、結果満足の出来る旅となりました。只、私の性格からしてホームステイですと気をつかい、マッチしないのではないかと!?と思った次第です。と言うのも、私の海外旅行は一人参加(一人部屋)で自由に過ごす

William Ricketts Sanctuaryの不思議な雰囲気やRhododendron Gardensの散策が良い思い出です。

Balmoral Gardens Retirement VillageでのFarewell Dinnerは、施設、食事、進行が素晴らしく、お持ち成しの勉強になりました。2014年にはValやAlan, Liz が東京に来る予定なので、再会を楽しみにしています。

Murray Bridge では、John & Jan宅にステイしました。Wi-Fi 環境は余り良くないが、店舗の豊富なMarket Place もあり、人口19,000人のコンパクトな街です。

Free Dayには、お願いして地域のラジオ局、リサイクルセンター、消防署などを見学することが出来ました。自宅のプールに入ったり、周辺を自転車で探索したり、ポトラックでのピザづくりなど、homestayならではの経験をしました。corella(bird), squawking, nibble などの新語も収穫、毎晩、ラジオでオージー英語を聞き、hearingが良くなった感じがします。堪能したMuscat White wine を帰国後、ヤオコーでゲット。しかし、パンにぬるthree 333 threesのSweet Mustard Picklesが、未だ見つかりません。訪問先でMt. Barker やSalisburyの人と再会出来て、人のつながりをこれからも大切にしていきたいと思えます。

事が多いので……。

最後に、旅行をご一緒したメンバーの方々に大変にお世話になり、感謝の言葉を。”ありがとうございました”。



Melbourne の Joan, Mary と

## 旅は楽しい

日置 旦子



Murray Bridge 市長訪問

シドニー目指して19:50分発カンタス航空にて9時間の旅に出発した。赤道を越えて行く初めての南半球の地オーストラリアです。

殆ど抵抗無くヨーロッパに行った感覚でメルボルンの目的地に到着し、高橋京子さんと無事にホストのHeatherさんにお会いしました。

ホストは旧知の様な感じで私達を迎えてくださいました。美しい大きな素敵なお宅で驚かされました。

それにしてもオーストラリア国内を走っている車、車は日本車が多く、日本経済を支えてくれる有り難い親しみやすい国の印象を先ず感じました[大袈裟?でも、ホント]又、FFの力も凄いと実感もしています。

お互いに何も隔たりもこだわりも無く、数時間前に初めての挨拶を交わしたにも拘わらず全て垣根の無い状態。素晴らしい不思議な気がしました。

滞在期間はHeatherさんの車[勿論トヨタカローラ]でウェルカムパーティーを始め、動物園や、彼女の海辺の別荘等案内をして頂きあっと言う間に日程が過ぎてしまいました。

別れはつらいですが、もう次のホストの事で頭が一杯になり少しの涙をメルボルンに残して、サザンクロス駅からマレーブリッジ目指して少しレトロな汽車に乗り7時間の旅にでました。

広大なところに所処緑のブッシュ以外赤みを帯びた乾いた土地を果てしなく見ながら南下するのです。

こんな風景は今まで見たことがありません。木は殆どユーカリです。コアラの好物の木だなーと。。。うとうとしたがユーカリしかないから コアラは選択の余地がなかったのだと勝手に想像をしていました。マレー河を渡って無事駅に到着。沢山のFFの方が旗を手に迎えてくださいました。

Ken, Annさんは直ぐ分かりました。不思議です。此処でもFFの人たちは家族を迎えて下さる様に良い出会いでした。直に車(勿論トヨタ クラウン)でお宅に向かいました。綺麗なお宅でたくさんのお花が咲いていました。

マレーブリッジの郊外は「これぞ オーストラリア!!」です。広大な土地に大河のマレーリバー果てしなく続く荒野。。。大地に立って360度見渡せば確かに地球は丸い事を実感しました。ホストのケン、アンさんご夫妻には、色々な意味で教えられる事がありました。

慎ましく、美しく、お優しくお互いを労りながら生活をされている理想的なお方でした。

私が一番思い出すのは、その家の直上空は鳥の道らしく、朝夕決まった時間に近くの木から川辺まで大群のオウムがギャギャ鳴きながら往復していました。その姿はそれはそれは美しい鳥です。

真っ白い大きな羽、ピンク色の胴体が、朝日、夕日に照らされてそれは夢の様な瞬間です。

忘れられません。オーストラリアに来て良かったと思いました。

## 国際フェア

高橋 節子

雲ひとつない五月晴れの空が広がっていました。5月3日、4日に市民の森で開催されました。

国際フェアの1日目に初めて参加させていただきました。

ブースの中は世界の旗、これまでの交流マップ、写真等が飾られており、とても温かい雰囲気になっておりました。

国際交流・ホームステイ等に興味のある若い方、ご年輩の方・お母様がお子様のために、皆様熱心に説明を聞かれています。

このフェアを通して多くの方に知っていただき

大勢の方が入会してくださると嬉しいです。FFについて未熟な私ですが、とても有意義な1日でした。



ポーランドからのご夫妻と

# イギリス ブリストルクラブ受入 2013年

4月7日(日)~4月14日(日) ED 西村 純枝



ウェルカムパーティーでの記念写真

## 2年前の約束

チューリップ咲く4月半ば、待ちに待ったイギリス、ノルウェイから25名のAmbassadorを迎えることができた。2年前、東日本大震災があり、無論交換はキャンセルになった。あと来日まで一か月を切っていた。日本にいた多くの外国人も我先にと帰国し一時はこの交換も消滅するのではと懸念した。そんな中、今回の来日は、私達を大いに励ましてくれた。地震や放射能への不安も当然あったろうが、勇敢にも！受け入れ最多の25名で訪問、埼玉クラブに満点の評価と再会を誓ったエールをいただいた。楽しかったバス旅では、右に左にと

何度も富士山を満喫し、大涌谷で更なる長寿を願っての黒卵を頬張り、関所跡では、質問攻めにあった。真冬の下見係と共にみんなが報われた日でもあった。今回一週間の受け入れ初EDを担当させて頂き「とにかくみんなでやる！」交換委員もホストもまた、デイ・ディナーホストも力を寄せ合うことの素晴らしさを実感できた収穫は、クラブメンバーへの感謝と重なる。この交換の先にあるものを大切に想い、念じながら活動を続けたいと思っている。

EDとして、長ーいトンネルを抜けた思いがあった。

## 初めて“ホスト”を経験して

赤川 公美子

4月のブリストルクラブの来日に際し、初めてホストをさせていただきました。

さて、いざ受け入れるとなるとアンバサダー用に部屋を一つ用意し、バスルームやキッチンの気になる部分も家族みんなで掃除するなど慌ただしい日々が始まりました。

そんな不安でいっぱい私達を温かい大きな気持ちで受け止めてくれたのがEvelynでした。来日前のメールのやり取りで“大丈夫よ。私はフレンドリーだから心配しないで！”との優しい言葉。その言葉通り明るく活発で何にでも興味を持ってさいたままでの生活を楽しんでくれました。

何より嬉しいのは“いけばな”と“着物”に興味を持ってくれたこと。日本文化紹介のいけばなのデモンストレーションでしっかり基本を理解し、家に帰ってから持ち帰ったお花を一人

で生け直し、“ブリストルに帰ってからもしばなをやるわよ”との頼もしい言葉。

フェアウェルパーティーの際は私と一緒に着物で出席するなどあつと言う間に日本通になってしまいました。

帰国して数日後、“もうお友達に着物を着せたわ”とのメールが来た時には本当にびっくり。

ほぼつきっきりの一週間…長いような短いような…。“これが国際交流なんだ”そう実感した初めてのホスト体験でした。

皆様のご協力にも心から感謝申し上げます。



アンバサダーの Evelyn と

## Pat との 16 年振りの再会を喜ぶ

岡田 久仁子

1997年9月下旬、マンチェスター・クラブとの交換を終えて次の訪問地のブリストルに滞在した時のホストファミリーが Pat、ご主人の Albert、2人の子息・Robert と Michael でした。それ以来続けていたクリスマス・カードの最近版で、2011年春の埼玉クラブとの交換で訪日との知らせで、お互いの約束実現を楽しみにしていましたが、大震災でやむなくキャンセル。

今回、ようやく永年の夢が叶うとあって二人で大喜び、我が家で再会を果たしたときは、15年半の時の流れが一瞬のうちに消え失せ、双方お陰様で無病息災で相まみえることの幸せを心から感じる思いでした。

Pat は当時と変わらず陽気でおしゃべり好き、持参した当時の写真を見ながら話が尽きません。中でも彼女が開口一番で話題にしたのは、Robert の案内でバース近郊のアンテーク・ショップで買い、後日 Albert に空輸してもらった直径約 50cm、深さ約 15cm、重さ約 10kg の陶製ボウルでした。何かの縁で TV 番組「なんでも鑑定団」にも登場、本来付随するピッチャー（水差し）があれば、もっと高い評価とのこと。

大正時代に日本からヨーロッパに輸出されたもののようですが、今ではブリストル訪問の思い出の一品且つ我が家の家宝となっています。

別れ際の、「次回は Pat 一家の、トルコ西南部・エーゲ海沿岸の保養地にあるサマー・ハウスで・・・」との会話が実現すればいいなと思っています。

## 彼女は、ベジタリアン

長島 三枝子



FFでのホームステイ受け入れは、今回が初めてでした。出迎えの大宮駅で、ブリストルクラブの到着を少し不安な気持ちで待っていました。

名前のプラカードを掲げると、背の高い女性が近づいてきて、I'm Leslyと言って自己紹介されました。私は、彼女の笑顔で緊張が一気にほぐれました。

国や環境が違って理解し合えると、その時感じました。そして、素敵な1週間になると実感しました。

彼女は、ベジタリアンであると彼女のメールから知りました。しかし、玉子とチーズは食べられるということでしたので、少々安堵感がありました。

到着の1週間前から食事メニューを考え、用意周到で臨みました。1日目、2日目、フェアウェルパーティーまではなんとかうまくいきました。しかし、Thank you meal で私は失敗してしまいました。

彼女は、レストランでカルボナーラを注文したのです。なんと、その中に小さきぎんだベーコンが入っていたのです。私は、彼女の反応が気になり、彼女の顔を覗き込みました。するとNo problemという答えが返ってきました。しかし皿の隅にベーコンが残されていたのです。

私は、配慮が足りず申し訳ない気持ちでいっぱいでした。ベーコン事件は、少々悔いが残りますが、ホストとして私なりに最善を尽くしたので、達成感とともにすがすがしい気分でした。

皆様、大変お世話になりました。有難うございました。

## オーストラリアからの研修生を受け入れて 沼 純子

6月30日から1週間、オーストラリアの19歳の学生が我が家に滞在しました。

彼女はシドニーのUNSW (University of New South Wales) の夜間コースで日本語を勉強中で、小学生のころから日本に興味を持ち、ずっと日本に来たかったそうです。

研修先の埼玉大学では、日本語、日本文化、英文学、ピアノ演奏などの講座に参加、学生にゆかたを着せてもらったり、お茶会、美術館めぐり、はとバス東京観光など多彩なプログラムを楽しんだようです。

英語クラスで、日本語と英語で豪日の学生がそれぞれプレゼンテーションをしたこともお互いに良い経験になったことでしょう。ボニーは自宅近くの「ボンダイビーチ」について発表。練習の効果あり、うまくいったようです。



服飾店で働いているボニーのファッションセンスはさすが。でも日本のキティちゃんが大好きなかわいい女の子でした。羽島さん宅にステイしたポールもナイスガイでした。最後のランチ・パーティの後、羽島さんに案内してもらって鉄道博物館へ行きました。

ボニーもポールももっと日本語を勉強したい、そして又日本へ来たいと言っていました。

## 関東ブロック会議

## 五十嵐 佑子

6月29日に関東ブロック会議が浅草文化観光センターで行われました。関東ブロックとは、東京、西東京、富士山梨、埼玉の4クラブが集まったものです。Friendship Force Japanは北日本ブロック(6クラブ)、中部ブロック(7クラブ)、西日本ブロック(8クラブ)との4ブロックで成り立っています。詳しくはハンドブックをご覧ください。



今回の関東ブロック会議には、主催の東京クラブが13人、西東京クラブから13人、富士山梨クラブから1人、我が埼玉クラブから8人が出席しました。そこで、世界のクラブの最新情報、FFIの新会長・理事選出報告がありました。

関東ブロック4クラブの2012年・2013年の交換報告、2014年の交換予定が述べられました。また、合同渡航の留意点、各クラブの会員数、会費、役員数、会報発行回数、会員との交流方法、受け入れ時のホームホスト・デイホスト・ディナーホストの組み合わせ、Thanks meal、代表者の参加補助費など多岐にわたる問題点、改良点が話し合われました。

各クラブでの事情など知ることができ、いろいろと学びました。会議後、懇親会も開かれ、フレンドシップフォースの発展に向かって各クラブの連帯を深めました。



## クラブからのお知らせ



- ・7月23日(火) みんなで語ろう シーノ5F 講座室2
  - ・9月15日(日) Kapiti Coast受入れ ワークショップ シーノ9F 学習室1 9:30
  - ・9月29日(日)～10月06日(日) ニューージーランド(Kapiti Coast)受入:ED 羽島 継男
    - 09月29日(日) 札幌クラブを先に訪問後、大宮駅15:42到着予定。
    - 10月01日(火) 日本文化紹介 北浦和カルタスホール
    - 10月02日(水) 東京バスツアー
    - 10月04日(金) フェアウェルパーティー さいたま市文化センター
  - ・10月13日(日) Kapiti Coast 報告会 シーノ9F 学習室2 13:30
  - ・10月19日(土)、20日(日) FF日本大会(主催 鳥取クラブ)
  - ・11月2日(土)、3日(日) 国際フェア 10:00～16:00 さいたま新都心 けやき広場
  - ・11月23(土)～26日(日) FF世界大会(アメリカ、New Orleans で)
- 2014年 渡航・受入予定
- 渡航 : 9月 ウイニペグ クラブ(カナダ)
- 受入 : 3月 ブダペスト(ハンガリー)、11月 ルーヴァン(ベルギー)

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒337-0052 さいたま市見沼区堀崎町 295-7

TEL : 048-684-9733 FAX : 048-684-9733

発行日 : 2013年7月31日